科目名: 老年看護学実習 Ⅰ	必修	1単位(45時間)
(Gerontological Nursing Practice Ⅰ)		

履修年次/時期: 2年次 後期　　授業形態: 実習

主担当教員: 棚橋 泰之

主担当教員詳細: 実務経験 看護師13年:実務・教育経験を活かし、地域で生活する対象の理解が促進するように指導する

担当教員名: 石川 智子, 石井一義, 久世美帆, 石井玲子

学修目的	施設を利用する高齢者とのかかわりを通して、高齢者の特徴、生活状況を理解する。また、有料老人ホーム・老人福祉センターの・社会福祉協議会の機能・役割、および施設における看護職の役割を理解する。 関連するCP: CP1,CP2,CP3,CP5,CP6　　科目No. KNp-227		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	◎
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○: この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	①老年期にある看護の対象の特徴を身体的・精神的・社会的側面から理解する。 ②高齢者とのコミュニケーションの方法を理解する。 ③高齢者の生活について知り、施設の果たす機能や働く人々の役割を理解する。 ④看護を学ぶものとしての姿勢や態度を身につける。		
授業概要	施設を利用する高齢者とのかかわりを通して、高齢者の特徴、生活状況を理解する。また、老人ホーム・老人福祉センターの機能・役割、および施設における看護職の役割について学ぶ。		
授業計画	(実習施設) 【介護施設】 横浜磯子老人保健施設、横浜いづみ介護老人保健施設、特別養護老人ホームシャローム、介護老人保健施設、しんわ走水荘、横須賀グリーンヒル、第二湘南グリーン介護老人保健施設、ツクイ横須賀森崎、油壷エデンの園、木下の介護ライフコミューン上大岡 【社会福祉協議会】各地区センター (実習期間) 2025年12月1日～12月8日		
評価方法	老年看護学実習Ⅰの実習評価表の項目を、評価基準に基づいて点数化し、その合計点を最終評価とする。 評価に対するフィードバックは必要時、面接にて行う。		
教科書	授業で使用した教科書と授業資料		
参考書	必要時、紹介する。		
ｵﾌｨｽｱﾜｰ連絡先	在室時は調整し対応。不在時は下記メールに連絡ください。 棚橋泰之:3号館3階 研究室 tanahashi@kdu.ac.jp		